

# 全国大での安全・安心への 理解醸成の取り組み

令和5年1月

経済産業省

資源エネルギー庁

# 各地での説明会の実施・イベントへの参加

- 2021年4月以降、農林漁業者、観光業者、加工・流通・小売事業者、自治体職員等を対象に、ALPS処理水の安全性や基本方針決定の背景、支援策に関する説明会や意見交換を約1000回実施。
- また、福島県内を始め、各地で開催されるイベントに参加し、福島第一原発の廃炉やALPS処理水について説明を行うブースを出展。来場者と直接双方向のコミュニケーションを実施。



R4.9.10.  
標葉まつり@大熊町交流ゾーン



R4.9.23.  
ふたばワールド@双葉町



R4.9.22-25.  
ツーリズムEXPOジャパン2022  
@東京ビッグサイト



R4.11.7.  
山形大学の学生の方々への出前授業



R4.11.6.  
いわきFC-鹿児島ユナイテッドFC戦  
@Jヴィレッジスタジアム



R4.11.19-20.  
十日市祭@浪江町



R4.11.23.  
ふくしまフェスティバル@名古屋



R4.12.17.  
ゼロカーボンフェスティバル@大熊町

# 民間団体と連携した広報

- 日本サーフィン連盟と連携し、福島県南相馬市で行われたサーフィン全日本級別選手権大会会場で**廃炉ブースを設置し、模型の展示や職員による説明**を実施。あわせ**大会案内冊子に処理水Q&Aの掲載や大会時webライブ配信での動画放映を実施**。
- 宮崎県（8月20日～26日）・静岡県（9月30日～10月2日）の大会においても、**大会案内冊子に処理水Q&Aの掲載や大会時webライブ配信での動画放映を実施**。



全日本選手権での動画放映内容



全日本級別選手権の様子

# 流通・小売の事業者や消費者団体等への視察機会の提供

- **ALPS処理水の処分に係る風評影響の抑制に当たっては、製品の流通過程である加工・流通・小売の各段階の事業者等の皆様や、消費者の皆様、安全性を理解いただくことが重要。**
- **こうした考え方の下、福島第一原子力発電所及びその周辺地域の視察ツアーを実施。同視察の様子は、各地元メディアや同協会の機関誌においても取り上げられた。**

2022年9月 全国スーパーマーケット協会会員企業



1F視察の様子



座談会の様子

2022年11月 全国消費者団体連合会



1F視察の様子



座談会の様子

**Information**

**「福島視察ツアー」を開催  
福島第一原発や地元優秀店舗を視察**

9月29日、経済産業省資源エネルギー庁の企業に対し「福島視察ツアー」を実施しました。視察、政府では福島第一原子力発電所の閉鎖に向け、ALPS処理水の海洋放出の実施に際して事業者等と協議していますが、県民生活の風評被害について懸念の声があげられているとあります。そこで、小売業関係者に福島第一原発の現状と、風評被害対策について理解を深めようと実施されました。当日は、日曜日のナイトイベントの日程、地元優秀店舗での見学・買物もコースに組み込み、異例に考え、学術視察ツアーとなりました。

**検査を継続し安全性を示し続ける**

視察時40分、郡山駅から出発したバスは、福島県産業総合センターへ。ここで、2011年6月から行われている県産農林水産物の放射線モニタリングの作業を見学した。放射性物質の濃度は、刻々と変化するが、モニタリングの結果は、大きな変動を認めず、安定した水準を維持している。放射性物質の濃度は、刻々と変化するが、モニタリングの結果は、大きな変動を認めず、安定した水準を維持している。放射性物質の濃度は、刻々と変化するが、モニタリングの結果は、大きな変動を認めず、安定した水準を維持している。

**解体中の原発の建屋を前に安全性を考える**

郡山駅に到着後、福島第一原発の敷地内へ。入場前に参加者は放射線チェッカーを受け、健康状態を確認した。参加者は、放射線計測器を使用して放射線を測定する様子を見学した。また、ALPS処理水の海洋放出に向けた準備作業についても説明を受けた。

**「常備もの」充実！マルト平肥子店を見学**

視察の最後は、マルト平肥子店を見学した。マルト平肥子店は、福島第一原発の周辺にあり、放射線の影響を受けやすい環境にある。しかし、マルト平肥子店は、放射線の影響を受けやすい環境にある。しかし、マルト平肥子店は、放射線の影響を受けやすい環境にある。しかし、マルト平肥子店は、放射線の影響を受けやすい環境にある。

**福島第一原発1-4号機の廃炉作業の進捗**

2021年4月に建て直された1号機内では、地元自治体や事業者が参加して、放射線計測器を使用して放射線を測定する様子を見学した。また、ALPS処理水の海洋放出に向けた準備作業についても説明を受けた。

**「常備もの」充実！マルト平肥子店を見学**

視察の最後は、マルト平肥子店を見学した。マルト平肥子店は、福島第一原発の周辺にあり、放射線の影響を受けやすい環境にある。しかし、マルト平肥子店は、放射線の影響を受けやすい環境にある。しかし、マルト平肥子店は、放射線の影響を受けやすい環境にある。

## 漁業者を始めとする地元住民等との車座での意見交換

- 漁業者を始めとする地元住民等に対して、基本方針の決定の背景や検討の経緯、風評対策について説明すべく、説明会を実施。その上で、直接の対話を充実させるため、車座での意見交換を順次実施。
- 2022年10月30日には、**西村経済産業大臣が、若手漁業者や水産流通加工業者（計5名）との車座での対話を実施。**対話の中では、**福島県沖で獲れる魚のブランド化に向けた取組支援や水揚げした魚が適正価格で販売されること**等についてのご意見・ご要望を頂いた。
- 頂いた意見を踏まえ、三陸や常磐ものの魅力を発信し、消費拡大を行っていくための官民連携の新たな枠組みの構築に向けて検討を開始。**今後も対話を続け、その中で頂いたご意見も踏まえ、風評対策を着実に実行。**



2022/10/30 車座での意見交換の様子

# 全国での大規模な情報発信（WEBサイトの新設）

- ALPS処理水について、科学的根拠に基づいた情報をわかりやすくまとめたWEBサイトを12月1日に新設。
- 「みんなで知ろう。考えよう。ALPS処理水のこと」という共通のメッセージと共に、テレビCMやWEB広告、新聞広告等を通じて全国に情報発信し、興味を持っていただいた方に訪問いただくことを想定

新設WEBサイト みんなで知ろう。考えよう。ALPS処理水のこと（知ってほしい5つのこと）

みんなで  
知ろう。  
考えよう。  
ALPS処理水のこと

- 1 ALPS処理水って何？  
本当に安全なの？
- 2 トリチウムって何？
- 3 なぜALPS処理水を  
処分しなければ  
ならないの？
- 4 本当に海洋放出しても  
大丈夫なの？
- 5 近海でとれた  
魚は大丈夫なの？

経済産業省  
Ministry of Economy, Trade and Industry



アルプス  
ALPS処理水って何？  
本当に安全なの？  
なぜ処分が必要なの？  
海に流して大丈夫？

復興を進めるために。  
風評を起こさないために。

NEWS

2022年12月01日（木） 本サイトを公開しました。



廃炉・汚染水・処理水対策ポータルサイト  
(経済産業省)



処理水ポータルサイト  
(東京電力)

安全対策・  
風評対策の取組 > 関連コンテンツ >

動画コンテンツを公開中



画像をクリックすると再生できます

このウェブサイトでは、  
科学的根拠に基づいたALPS処理水の情報をわかりやす  
くまとめています。

知っていただくことが、復興の応援になります。  
ALPS処理水について、「知る」「考える」きっかけにな  
れば幸いです。

こちらからご覧いただけます：[https://www.meti.go.jp/earthquake/nuclear/hairo\\_osensui/shirou\\_alps.html](https://www.meti.go.jp/earthquake/nuclear/hairo_osensui/shirou_alps.html)



# 全国での大規模な情報発信（テレビCM、屋外・交通広告）

- 全国の地上波放送局※において、12月13日から2週間程度テレビCMを放送。
- また、屋外広告、電車内ビジョン、駅構内サイネージにおいて、12月19日頃から1週間程度広告を都心部を中心に全国で実施。

※一部の放送局では未実施

## テレビCM、屋外広告、電車内ビジョン、駅構内サイネージ（以下はテレビCMの実写篇）



# 全国での大規模な情報発信（WEB広告）

- YouTubeにおいて、12月13日から1か月程度動画広告(経済産業大臣篇、実写篇、アニメーション篇)を展開。  
経済産業大臣篇は12月13日以降、約48万回再生された（1月13日時点）。
- また、Yahoo!JAPANのトップページに、12月13日から1か月程度バナー広告を掲載。  
12月13日から12月19日の間に約1,500万回閲覧された。

## YouTubeにおける動画広告（上：経済産業大臣篇、下：アニメーション篇）



こちらからご覧いただけます：  
<https://www.youtube.com/watch?v=SkALutW1Rh4>

こちらからご覧いただけます：  
<https://www.youtube.com/watch?v=IIM123YNZ9A>



## Yahoo!JAPAN バナー広告



# 全国での大規模な情報発信（新聞広告）

- **全国紙、各県紙・ブロック紙**において、**12月13日の朝刊に新聞広告**を掲載。
- また、**地元紙（福島民報、福島民友、河北新報、岩手日報、茨城新聞）**において、**12月第2週に新聞広告**を掲載。

## 全国紙、各県紙・ブロック紙広告

## 地元紙広告

みんなで  
知ろう。  
考えよう。  
ALPS処理水のこと



ALPS処理水って何？

東京電力福島第一原子力発電所の建屋内にある放射性物質を含む水について、トリチウム以外の放射性物質を、安全基準を満たすまで浄化した水のことです。トリチウムについても安全基準を十分に満たすよう、処分する前に海水で大幅に薄めます。

なぜ、ALPS処理水の処分が必要なの？

これからより本格化する東京電力福島第一原子力発電所の廃炉作業を安全に進めていくためには、新しい施設を建設する場所が必要となりALPS処理水を処分し、現在敷地を占有している数多くのタンクを減らす必要があります。

海に流して大丈夫？ 本当に安全？

放射性物質に関する安全基準を満たしていることが確認されたもののみが海洋放出されます。このため、環境や人体への影響は考えられません。また、海洋放出の前夜で、海の放射性物質濃度に大きな変化が発生していないかを、第三者の目を入れた上でしっかりと確認し、安全確保に万全を期します。

もっと詳しい情報はどこで確認できるの？

科学的根拠に基づいたALPS処理水の情報を公式ウェブサイトで発信しています。ぜひ、「みんなで知ろう ALPS処理水」で検索するか、こちらの2次元コードを読み込んでご確認ください。



みんなで知ろう ALPS 処理水

ALPS処理水の処分について、安全性を確保し、政府を挙げて風評対策を徹底していきます

### 外部の目による徹底したチェック

2022年11月14日から18日にかけて、IAEA（国際原子力機関）の職員及び国際専門家らが日本を訪れ、東京電力福島第一原子力発電所におけるALPS処理水の安全性に関するレビュー（2回目）が行われました。



IAEA専門家団によるレビューの様子

### 全国規模での三陸・常磐もの販路拡大

水産見本市「シーフードショー大阪」「ジャパン・インターナショナル・シーフードショー（東京）」に、三陸・常磐地方の事業者が参加し、経済産業省も出展をサポートしました。



シーフードショー大阪  
(2022年4月13日～14日)

ジャパン・インターナショナル・シーフードショー  
(2022年8月24日～26日)

### 流通・小売事業者向け情報発信

ALPS処理水の放出後も安心して取引を継続いただけるよう、流通・小売事業者等を対象としたシンポジウムを開催。

水産物をはじめとした食の安全に対して影響はない放出方法であることや、安全・安心のためにモニタリングを実施すること等をご説明し、意見を交わしました。



第1回ALPS処理水モニタリングシンポジウム  
(2022年10月27日(水)オンライン開催)

今後実施する  
取組例

テレビCMやWEB広告等を活用したALPS処理水に関する広報を全国規模で実施します。

持続可能な漁業継続を実現するための漁業者の取組を支援する基金事業を始めます。

「三陸・常磐もの」の消費拡大に向けた、売り手と買い手を繋げる官民連携の枠組みを構築していきます。

将来技術(トリチウム分離、汚染水発生抑制等)を継続的に追求していきます。

みんなで  
知ろう。  
考えよう。  
ALPS処理水のこと



みんなで知ろう ALPS 処理水



※画像は掲載した広告をリサイズしたものと

# 政府広報と連携した情報発信

- 2022年10月2日、政府広報のラジオ番組において、**廃炉とALPS処理水をテーマに発信。****ALPS処理水の海洋放出に当たっての安全性の確保や風評を生じさせない取組などを紹介。**
- また、同年12月2日、政府広報のBSテレビ番組において、**廃炉とALPS処理水をテーマに発信。**
- ALPS処理水に関する詳細な情報を入手できるポータルサイトについて、多くの方に見ていただけるよう、**政府広報と経済産業省で連携し、Yahoo!ニュースにバナー広告を掲載。**

## 青木源太・足立梨花 Sunday Collection



こちらからご覧いただけます：

<https://www.gov-online.go.jp/pr/media/radio/sc/text/20221002.html>

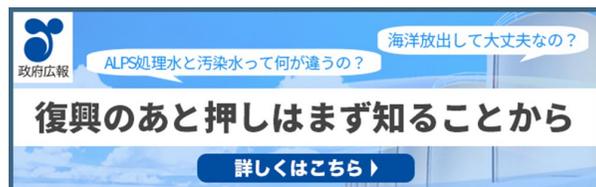
## ビビるとさくらとトモに深掘り！知るトビラ



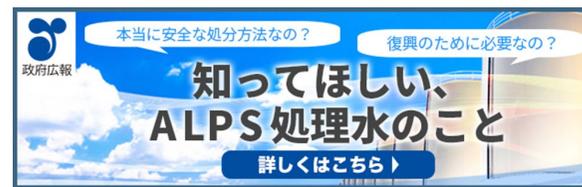
こちらからご覧いただけます：

<https://www.gov-online.go.jp/pr/media/tv/shirutobira/movie/20221202.html>

## バナー広告の掲載



2022年8月22日～8月28日掲載



2022年10月31日～11月6日掲載

# ALPS処理水の取扱いに関する各国・地域への情報発信

## 各国政府等への包括・個別の働きかけ、国際機関との協力、海外メディアへの情報提供など透明性高く情報発信

- **在京外交団等**を対象に、外務省と協力し、処理水に係る現状等についてブリーフィング（2021年4月以降、累計12回）。
- **二国間対話・国際会議**等の場での情報発信。（WTO衛生・植物検疫(SPS)委員会、EUとの会合等）
- **韓国政府向け**には、2022年6月、12月に実施した局長級の**テレビ会議説明会**を含め複数回の説明会を実施。
- **太平洋島嶼国・地域、PIF事務局向け**には、専門家を交えた技術的な説明会を含めて**複数回の説明会**を実施。
- 2022年6月にIAEAのHPにも公開された**中国・ロシアからの共同質問状**に対して、**丁寧かつ透明性高く回答**（日本からの回答もIAEAのHPで公開）。

- **IAEAウェブサイトでの情報公開**(サブドレンの状況(月1)、包括的な情報(四半期に1回)、ALPS処理水に関する特設サイトの開設)
- **第66回IAEA総会**において、福島第一原子力発電所の廃炉とその周辺地域の復興の進捗に関するサイドイベントを開催。(2022年9月)

- **海外メディア**を対象に、外務省・経産省・原子力規制庁・東京電力合同で、**随時ブリーフィング**（2021年4月以降、累計11回）や**プレスツアー**を実施。
- 広報動画の制作・発信。
- **海外有カメディア**による**特集コンテンツの発信**。（ユーチューブ、Financial Times等）

## 在京外交団等向けテレビ会議説明会

外務省  
Ministry of Foreign Affairs of Japan

English Other Languages

検索 文字サイズ変更 小 中 大

外務省について 会見・発表・広報 外交政策 国・地域 海外渡航・滞在 申請・手続き

報道発表

### 東京電力福島第一原子力発電所におけるALPS処理水の取扱いに関する在京外交団等向けテレビ会議説明会の開催

令和4年7月26日  
英語版 (English)

7月26日、東京電力福島第一原子力発電所（東電福島第一原発）のALPS処理水の取扱いに関する在京外交団等向け説明会をテレビ会議形式で実施し、33の国・地域から37名が参加しました。同説明会は、東電福島第一原発事故以降118回目となります。

- 1 冒頭、外務省及び原子力規制庁から、7月22日の原子力規制委員会によるALPS処理水の海洋放出設備の設置等に係る実施計画変更の認可に関して説明を行った後、経産省・資源エネルギー庁の参加も得て、出席者との間で質疑応答が行われました。
- 2 我が国としては、今後も関係省庁一体となって、東電福島第一原発の状況についての情報を国際社会に対して透明性をもって丁寧に説明していく考えです。

[参考1] 出席国・地域  
アルゼンチン、イスラエル、イタリア、インド、ウガンダ、エクアドル、エルサルバドル、カナダ、韓国、カンボジア、ギニア、ギリシャ、ジブチ、シンガポール、ジンバブエ、スウェーデン、タイ、中国、チリ、ドイツ、ニュージーランド、フィリピン、フランス、ブルガリア、ブルキナファソ、米國、香港、マダガスカル、マレーシア、ミャンマー、モリタニア、レバノン、ロシア連邦

(出典：外務省報道発表)

## 中露共同質問状への回答

IAEA  
Agency for Peace and Development

Information Circular

INFCIRC/1007  
Date: 21 July 2022  
General Distribution  
Original: English

Communication dated 20 July 2022 received from the Permanent Mission of Japan to the Agency

1. The Secretariat has received a Note Verbal dated 20 July 2022, together with an attachment, from the Permanent Mission of Japan to the Agency.
2. As requested, the Note Verbal and its attachment are herewith circulated for the information of all Member States.

(出典：IAEA, <https://www.iaea.org/sites/default/files/publications/infcircs/2022/infcirc1007.pdf>)

INFCIRC/1007  
Attachment

Ref. No.: JPM/NV-11/5 - 2022

PERMANENT MISSION OF JAPAN  
VIENNA

Administrative Contact:  
Consul-Clay Street 8  
A-1020 Vienna  
Austria  
Telephone: (+43 (0) 20 85 0-0  
Facsimile: (+43 (0) 20 85 0-900)

NOTE VERBALE

The Permanent Mission of Japan to the International Organizations in Vienna avails itself of this opportunity to renew to the International Atomic Energy Agency the assurances of its highest consideration.

20 July 2022  
To the Secretariat of the  
International Atomic Energy Agency

# IAEA総会でのサイドイベント

- ▶ 2022年9月26日～27日に、国際原子力機関（IAEA）総会のサイドイベントが開催された。
- ▶ 2022年9月26日には「**福島第一原発廃炉と福島復興の進捗**」を開催し、**各国関係者に福島第一原子力発電所の廃炉及び福島復興の進捗状況を報告**。各国・地域及び国際機関から約100名の参加があり、IAEA幹部や日本政府（経産省、復興庁、農水省）、東京電力によるプレゼンテーションや、参加者を交えた活発な質疑応答が行われた。
- ▶ 2022年9月27日には**IAEA事務局が、ALPS処理水の海洋放出について、「東電福島第一原発におけるALPS処理水の取扱いの安全性に関するIAEAレビュー」の取組に関するサイドイベントを開催**し、加盟国に広く情報発信。韓国、中国、台湾を含む各国・地域政府から60名ほどが参加。**IAEAによるレビューの内容、今後の予定等についての包括的な説明の後、参加者を交えた質疑応答が行われた**。閉会挨拶では、グロッシェ事務局長が、**国際機関であるIAEAがプレゼンスと透明な情報発信の重要性を指摘し、積極的に取り組む旨言及**。

2022年9月26日 経産省主催サイドイベントの様子



2022年9月27日 IAEA主催サイドイベントの様子

IAEA  
International Atomic Energy Agency

Press centre Employment Contact

TOPICS SURVEYS RESOURCES NEWS & EVENTS ABOUT US

Home / News / IAEA Review of Treated Water Discharge at Fukushima Daiichi to Report Findings in 2023

### IAEA Review of Treated Water Discharge at Fukushima Daiichi to Report Findings in 2023

Enrico Harvey, IAEA Office of Public Information and Communication

SEP 27 2022

68th GENERAL CONFERENCE

Related stories

- IAEA Director General Sees Progress in Fukushima Decontamination Work
- IAEA to Review and Monitor the Safety of Water Release at Fukushima Daiichi
- IAEA Ready to Support Japan on Fukushima Water Disposal, Director General Tells 'Age'
- IAEA Team Aids Japan to Begin Implementing Project to Monitor and Review Water Release at Fukushima Daiichi

Related resources

At this event, on the sidelines of the 68th IAEA General Conference, the work done and planned future activities under the IAEA safety review of the facility of Advanced Liquid Processing System (ALPS) treated water at the Fukushima Daiichi nuclear power plant, was showcased (Photo: I)

# 香港関係者とのコミュニケーション①（在香港総領事館との連携）

- 在香港総領事館と香港政府との間では、ALPS処理水をめぐる我が国の取組について累次にわたり、意思疎通を行っている。
- 同時に、消費者やメディアへの正確な情報発信の働きかけが非常に重要として、在香港総領事館が主体となり
  - ✓ 関係省庁や在香港の関係企業・団体が参加した関係者会合の開催
  - ✓ 香港メディアを通じた対外発信
 等の取組を進めている。

## 直近の取組事例

概要	詳細
「香港01」による取材対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「香港01」は香港最大の広東語によるネットメディア（※香港の人口は約750万人だが、1か月に500万の閲覧数あり）</li> <li>● ALPS処理水の海洋放出計画及び農水省による日本国内の食の安全の取組について、香港一般市民への理解を促進するための取材を実施。</li> <li>● 取材は、経済産業省・農水省・水産庁・国内の有識者・東京電力等に実施し、11月に記事を発出。</li> </ul>
香港の日本人商工会議所の食品・消費財・小売流通部会におけるALPS処理水に関する説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 経産省・農水省から、それぞれ「ALPS処理水の海洋放出について」、「放射性物質に関する日本における食品の安全性確保」について説明。</li> <li>● 参加者から、海洋放出の開始時期やモニタリングの方法、消費者に対する説明についても関心が示された。</li> </ul>
香港の日本食協会（日本側、香港側及び有識者との説明会）	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 外務省、経産省、農水省及び東電から、本件安全性につき説明。</li> <li>● ファシリテーターとして、香港で活躍する日本人大学教授が対応し、香港人教授等とのQAも実施。</li> </ul>

- 2022年11月28日、太田経済産業副大臣は、張宇人（トミー・チョン）香港立法会議員及び香港の食品・外食関係者と会談を行い、**福島第一原発の廃炉に関して、安全性を確保したALPS処理水の海洋放出の取組について説明を行う**とともに、**同議員等と意見交換を行った**。
- 会談は昼食会を兼ねて開催され、**福島産食材を使ったお弁当を食べながら意見交換が行われた**。太田副大臣からは、**福島県産品の魅力や安全性をアピールし、日本産食品の輸入規制の早期撤廃に向けて働きかけ**を行った。



太田経済産業副大臣と香港の張宇人（トミー・チョン）議員



福島産食材を使ったお弁当 ▶

## 21世紀の原子力エネルギーに関する国際閣僚会議における太田経済産業副大臣の演説 および会議中のグロッシーIAEA事務局長との会談

- 2022年10月26日～28日、ワシントンDCにて、IAEA・米国エネルギー省が主催した国際閣僚会議（※）が実施された。  
（※）クリーンエネルギーへの移行、持続可能な開発及び気候変動緩和への貢献など、今後原子力の果たす役割について、各国閣僚や国際機関のハイレベルが考えを発表・共有することを目的とする会議。
- この中で、太田副大臣から、原子力の位置付け、我が国のエネルギー安定供給とカーボンニュートラル実現の両立に向けた原子力の活用拡大、ALPS処理水の海洋放出を中心とした東電福島第一原発事故への対応、ウクライナ支援等について、世界各国からの参加者に向けて演説を行った。
- また、同会議の期間中、太田経済産業副大臣は、グロッシーIAEA事務局長と会談を行い、ALPS処理水の安全性レビューなどについて意見交換を実施。



▲ 太田副大臣演説



▲ 太田副大臣と  
グロッシーIAEA事務局長



▲ 意見交換の様子

# 西村経済産業大臣と欧州議会対日交流議員団の表敬

- ▶ 2022年11月1日、西村経済産業大臣が欧州議会対日交流議員団の表敬を受けた際、西村大臣より、福島第一原子力発電所の廃炉に関して、**安全性を確保したALPS処理水の海洋放出の取組について説明を行う**とともに、**EUが講じている原発事故を起因とする日本産食品の輸入規制の早期撤廃を求めた。**



▲ALPS処理水の海洋放出の取組について説明する  
西村大臣



▲意見交換の様子



▲欧州議会対日交流議員団

# 西村大臣とシムソン欧州委員会エネルギー担当委員との会談

- ▶ 本年12月2日、**西村経済産業大臣は、来日中の欧州委員会シムソンエネルギー担当委員と会談を行い、同会談においては、西村大臣より、福島第一原子力発電所の廃炉に関して、安全性を確保したALPS処理水の海洋放出の取組について説明を行うとともに、EUが講じている原発事故を起因とする日本産食品の輸入規制の早期撤廃に向けて働きかけを行った。**
- ▶ **また、シムソン委員は、福島第一原発を訪問し、ALPS処理水の安全性及び廃炉の進捗状況について実際に確認してもらうことで、理解を深めてもらった。**



▲協力覚書を交わす西村大臣とシムソン委員



▲意見交換の様子



◀シムソン委員一行の福島第一原発訪問

# ALPS処理水にかかる韓国政府向け説明会の実施

- ▶ 2022年12月22日、ALPS処理水の海洋放出について、「東京電力福島第一原子力発電所のALPS処理水の取扱いに関する韓国政府向けテレビ会議説明会」を開催。
- ▶ 日本側から、**11月14日に東京電力から原子力規制委員会に提出された東京電力福島第一原子力発電所に係る実施計画の変更認可申請（放射線環境影響評価報告書の改訂含む）及び11月14日から18日にかけて実施されたIAEAによる第2回ALPS処理水の安全性に関するレビューの概要等について説明**を行った後、**韓国側の関心事項に基づく形で質疑応答が行われ、日本側より丁寧に説明を行った。**

## <参加者>

### 日本側：

外務省 海部篤軍縮不拡散・科学部長  
経済産業省 湯本啓市資源エネルギー庁原子力事故災害対処審議官  
原子力規制庁、環境省、水産庁、東京電力

### 韓国側：

外交部 ユン・ヒョンス気候環境科学外交局長  
国務調整室、科学技術情報通信部、海洋水産部、  
原子力安全委員会等の関係省庁



韓国政府向けテレビ会議説明会に関するプレスリリース

# 台湾関係者とのコミュニケーション（台湾専門家視察団の訪日）

- 2022年11月28日～30日に、台湾行政院原子能委員会等の専門家視察団が訪日し、東京電力福島第一原発、日本分析センター等の処理水や海水の分析機関、福島県小名浜漁港等を訪問。
- 本訪日は、2022年3月24日～27日に続き2度目。
- 台湾専門家視察団は、ALPS処理水海洋放出の安全性、日本が実施している処理水のサンプル分析、海水や魚介類のモニタリングに関する理解を深めるために、関係者からの詳細な説明を受けるとともに、意見交換を行った。

## ▼福島第一原発を視察する台湾専門家視察団



## ◀東電職員による 台湾専門家視察団への説明



## ▲小名浜漁港を視察する台湾専門家視察団

# 国際会議IYNC2022（国際青年原子力会議）における ALPS処理水の海洋放出に関する説明

- 2022年11月30日、福島県郡山市で行われた**国際会議IYNC2022（国際青年原子力会議）**において、**ALPS処理水の海洋放出に関する説明を行った。**
- ALPS処理水のセッションには、**若手の原子力関係者を中心に約40か国から260名程（オンライン参加も含む）が参加し、前日に行われた、東電の福島第一原発のバーチャルツアーもあわせて、廃炉やALPS処理水の取組について知見を深めた。**



▲国内外から多くの若手原子力関係者が参加

▲ALPS処理水の処分についての取組を説明

# シンガポール関係者とのコミュニケーション（シンガポールでのイベント開催）

- 経済産業省の補助事業において、**シンガポール「JAPAN RAIL CAFE」にて福島の食等の情報発信を実施する「FUKUSHIMA Food Fair!!」を初開催。**
- シンガポールによる昨年の福島県産品の輸入規制解除などの状況を踏まえ、福島の食・魅力の発信、福島来訪者増加を目的に、支援事業者が扱う**魚や日本酒の試食・試飲イベント、動画やパンフレットによる廃炉の現状紹介、福島県と連携した観光案内等を開催。**11月1日～30日の実施期間中に、多くの現地の方が来場し、現地の方に対し**約500件程度の試食やアンケートを実施。**



▲「FUKUSHIMA Food Fair」  
店内ポスター



▲試食イベント参加者の様子



▲試食・試飲メニュー

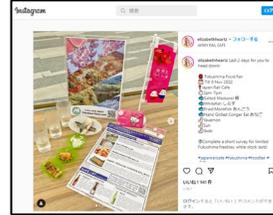
(穴子、アンコウからあげ、白魚、塩サバ、弥右衛門、純米SUN、一步己)



▲福島にちなんだ  
限定メニュー  
お土産販売



▲シンガポールメディアへの取材対応  
ならびに記事掲載



▲店内での動画展開（本事業紹介および1 F FACT）



▲採択事業者取組み紹介パネル  
および福島紹介パンフレット設置

# 輸入規制撤廃に向けた各国・地域への働きかけ

- 会談や国際会議等様々な外交機会を活用して、輸入規制撤廃に向けた働きかけを実施。
- 「行動計画」を公表以降、2022年には、**2月に台湾が輸入規制を緩和し、6月に英国、7月にインドネシアが輸入規制を撤廃**。引き続き、各国・地域への働きかけを実施。

## 諸外国・地域の食品等の輸入規制の状況（2022年12月時点）

規制措置の内容／国・地域数			
	<b>規制措置を撤廃した国・地域</b>		<b>43</b>
事故後に 輸入規制 を措置	輸入規制を継続 して措置	一部又は全ての都道府県を対象に 検査証明書等を要求  (EU、EFTA (アイスランド、ノルウェー、 スイス、リヒテンシュタイン)、仏領ポリネシア、 ロシア)	7
		一部の都県等を対象に輸入停止 (中国、台湾、香港、韓国、マカオ)	5
<b>55</b>	<b>12</b>		

### <最近の規制撤廃・緩和の例>

- 2022年 7月 **インドネシア** (規制撤廃)
- 6月 **英国** (規制撤廃)
- 2月 **台湾** (輸入停止の対象品目の大幅縮小等)
- 2021年 10月 **EU** (検査証明書等の対象品目縮小等)
- 9月 **米国** (規制撤廃)
- 5月 **シンガポール** (規制撤廃)

- 2021年 3月 **仏領ポリネシア** (検査証明書等の対象品目縮小等)
- 1月 **イスラエル** (規制撤廃)
- 1月 **香港** (一部ロット検査の廃止等)
- 2020年 **レバノン、UAE、エジプト、モロッコ、フィリピン** (規制撤廃)

## 風評影響についての調査

- ▶ 太平洋沿岸地域を中心とした各産業において、それぞれの懸念を払拭するための対策を講じるべく、風評影響調査を実施（2022年8月から今年度事業を立ち上げ）。処理水の放出前から風評影響の状況を継続的に把握。
- ▶ 万一、風評と疑われる事象やその予兆が確認された場合、追加のヒアリング実施等、適切な対応を実施。

### <調査の実施状況>

項目	内容（イメージ）	実施状況
消費者調査	アンケート調査	2022年11月実施
事業者調査	アンケート調査	2022年11月～12月実施
	ヒアリング調査	随時実施中
輸出動向調査	輸出専門商社等を集めた連絡会	2022年12月より実施
	輸出額・輸出量の調査・分析	随時実施中
卸売価格調査	取引価格・取引量の調査・分析	随時実施中
観光動向調査	宿泊客数等の調査・分析	随時実施中

# ALPS処理水の処分に係る輸出製品の風評影響連絡会の設置

- **海外のスーパーマーケットや外食産業といった日本産食品を扱う取引先の状況や、各国・地域で起こりうる（起きている）影響をお聞きするとともに、意見交換を行い、政府が講じる対策に反映させることを目的に、「ALPS処理水の処分に係る輸出製品の風評影響連絡会」を設置。第1回を12月20日に開催。**

参加企業：JFCジャパン株式会社、株式会社ヤマナカ、株式会社マール、株式会社フィッシャー・マン・ジャパン・マーケティング（東北・食文化輸出推進事業協同組合）、株式会社三陸コーポレーション、滝川地方卸売市場株式会社、Wismettacフーズ株式会社（2022年12月時点）



連絡会の様子（対面＋オンライン開催）

## ①情報発信の拡充

- **WEB媒体や各地方の主要紙**等で、ALPS処理水に関する情報や、情報発信に向けた取組実績を記載した記事を発信。
- 2023年1月に、**ALPS処理水について頻繁に尋ねられる質問を解説した動画広告を展開**。さらに、全国の消費者、流通・小売等のサプライチェーンの担い手となる方々に見ていただけるよう、**工夫した配信を実施**。
- **学校への出前授業を充実化**するとともに、**学生が集まる参加募集型イベントを3月に開催**。
- 説明会やイベント等で頂いた御意見を反映する形で、ホームページの内容を充実させるとともに、必要とされる情報を発信。

## ②東電福島第一原発の視察機会の拡大

- **流通事業者・小売事業者や消費者団体、海外の科学者等**に対しても視察機会を提供。
- **全国の方を対象に、福島第一原発のオンラインツアー**と意見交換の機会を提供。

## ③国際会議や二国間対話の場での説明

- **国際会議の場を活用**して、ALPS処理水の安全性や処分の必要性について、丁寧に説明・情報発信。
- 海外での報道や国際会議での不適切な発言など、**他国・地域からの誤った理解に基づく発信にはしかるべく反論**。

➤ ALPS処理水の処分に関する安全対策・風評対策の最近の動向を毎月公開しています。



経済産業省  
Ministry of Economy, Trade and Industry

## ALPS処理水の処分に関する 安全対策・風評対策の最近の動向

トピック集 2022年12月

Copyright Ministry of Economy, Trade and Industry. All Rights Reserved.



↑ 経済産業省サイトの「新着情報」に毎月掲載しています

## 流通事業者の方々にご参加いただける企画を検討しています

- 水産物の安全・安心を消費者へお届けする流通事業者の方々に、ALPS処理水の放出までの安全確保の工程や、ALPS処理水放出後の安全の確認を行う現場をご覧いただく企画を検討しています
- ALPS処理水の放出前後の期間に実施予定です
- 募集枠に限りがあるため、参加募集は業界団体を通じて、改めてご案内いたします
- ご覧いただくことが難しい工程・場面もありますが、わかりやすい動画や説明資料を公開していきます。

### 放出前工程

- 放出前の水を分析している場面
- 分析結果を確定するデータ処理の場面 等

### 放出後の安全確認

- 放水トンネルに向かう前の水（放水立て坑の水）を採取する場面
- モニタリングのため採取した水や魚を港で確認する場面 等

### 魚類飼育試験

- 魚を飼育している様子
- トリチウム分析を行う場面 等

# みんな 知ろう。 考えよう。 ALPS 処理水のこと

アルプス  
Q ALPS 処理水って何？

A 福島第一原発の建屋内にある放射性物質を含む汚染水について、トリチウム以外の放射性物質を、安全基準を満たすまで浄化処理した水のことです。  
トリチウムについても安全基準を十分に満たすよう、処分する前に海水で大幅に薄めます。

Q なぜ、ALPS 処理水の処分が必要なの？

A これからより本格化する東京電力福島第一原発の廃炉作業を安全に進めていくためには、新しい施設を建設する場所が必要となりALPS処理水を処分し、現在敷地を占有している数多くのタンクを減らす必要があります。

Q 海に流して大丈夫？ 本当に安全？

A 放射性物質に関する安全基準を満たしていることが確認されたもののみが海洋放出されます。  
このため、環境や人体への影響は考えられません。  
また、海洋放出の前後で、海の放射性物質濃度に大きな変化が発生していないかを、第三者の目を入れた上でしっかりと確認し、安全確保に万全を期します。

Q もっと詳しい情報はどこで確認できるの？

A 科学的根拠に基づいたALPS処理水の情報を公式ウェブサイトで発信しています。  
ぜひ、「みんなで知ろう ALPS 処理水」で検索するか、こちらの2次元コードを読み込んでご確認ください。

